

【国際戦略総合特区】関西イノベーション国際戦略総合特区

〔京都府・大阪府・兵庫県・京都市・大阪市・神戸市〕

【目標】

- ・(ライフ) 特区支援制度活用による、医薬品・医療機器関連設備投資額および薬事申請数の増加
- ・(ライフ) 特区参画の製薬企業の研究開発費の増加
- ・(ライフ) 関西の医薬品・医療機器の生産額の増加
- ・(グリーン) 関西のバッテリー・蓄電池関連企業の知財申請相談件数の増加
- ・(グリーン) 関西におけるスマートコミュニティ普及の達成(EVの普及台数、水素の使用量、スマートメーターの普及率)
- ・(ライフ・グリーン) 特区制度活用によるイノベーション拠点におけるプロジェクト件数の増加

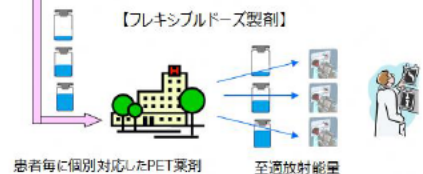
【取組概要】

- ・ライフ分野では、PMDA関西支部設置や規制の特例措置により、関西国際空港における薬監証明の電子化実証を通じて全国展開に貢献。また、各種支援措置を活用した研究開発拠点の整備とともに、医薬品・医療機器の研究開発に取り組んでいる。さらに、新たな製品化・事業化を支援する枠組みなども構築する等、取り組みを加速させている。
- ・グリーン分野では、規制の特例措置により、「けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)」が整備され、多数のプロジェクトが推進されている。また、NITEの大型蓄電池評価施設が立地するなど同分野の拠点化が進んでいる。さらに、各種支援措置を活用し、スマートコミュニティの実証実験に基づく事業化、および新たな蓄電池の研究開発等に取り組んでいる。
- ・ライフ・グリーン分野を支える、関西国際空港や阪神港などの物流インフラは、特区事業の下支えとなる基盤として重要な要素である。各種支援措置に加えて、地域独自の取り組みなども活用し、国際物流ネットワークの構築や機能強化等に取り組んでいる。



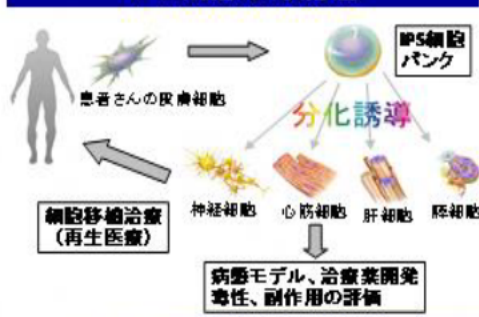
医薬品・医療機器

個別化医療に適応可能なPET薬剤を調製、供給するための仕組みを整備。PET薬剤の臨床適用を迅速かつ効率的に実施。



先端医療(再生医療など)

iPS細胞の可能性



iPS細胞等を用いた再生医療・細胞治療の早期の製品化、医療としての提供に向けた、臨床研究・試験の加速。

スマートコミュニティ

次世代エネルギー・社会実証プロジェクトの成果を踏まえ、スマートコミュニティ実装を目指し、高の原地区を中心に新たな取り組みを展開中(地域情報プラットフォーム等)。



水素アプリケーション

環境先進空港の実現と水素関連産業の世界市場獲得を目指す、関空の「水素グリッドプロジェクト」を展開。

KIX水素グリッド(イメージ図)

